

## 第2号議案

### 2022年度事業計画および収支予算承認の件

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

#### 1. 総論

新型コロナウイルス感染症に加え地政学的リスクの顕在化により、先が見通せない時代になってきました。パンデミックや大規模な紛争により、社会の構造的な変化が私たちの予測を超えて進展するとの見方も広がっています。

一方で足元では、「職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会」の最終報告を踏まえ「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令案」が発出されました。この省令案によれば、2024年4月1日までにすべての改正項目が施行されるとしています。先行きが不透明な中であって、私たちは限られた時間で労働安全管理体制の再構築に取り組まなければなりません。

このような現状認識に基づく2022年度の実業計画は、これまでにメルマガの配信で培った情報共有の仕組み並びに実態調査などで培った情報収集・集約の仕組みを活用しながら、以下の2項目を課題とさせていただきます。

課題1 情報を収集・集約し、会員・賛助会員との共有をさせていただくこと

課題2 法令遵守に係り会員・賛助会員の支援をさせていただくこと

#### (1) 課題1の活動計画

##### (a) メルマガの配信

2022年度も前年度と同様、毎月の「e-zine」および不定期の「EX(号外)」を配信します。また、官公庁や関連団体などから得られる情報もメルマガを通じて会員・賛助会員へ配信します。加えて、化学物質管理関連を除き全国自動車用品工業会への配信も継続します。

##### (b) 関連団体との交流

前年度と同様に以下の団体との交流は継続し、得られる関連情報を適宜、会員・賛助会員へ提供します。

一般社団法人 日本化学工業協会 (JCIA)

一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター (JETOC)

公益社団法人 自動車技術会 (JSAE)

一般社団法人 日本エアゾール協会 (AIAJ)

自動車部品・用品連絡会  
オートアフターマーケット連絡協議会  
オートアフターマーケット活性化連合 (AAAL)

(c) 『日本オートケミカル工業会実態調査』及び『JACA 景気天気予報調査』の実施

2020 年度より開始した上記の調査については 2022 年度も継続して実施します。調査結果が累積することで、私たちの立ち位置や活動の傾向などがより明らかになるものと期待しています。

(2) 課題 2 に係る活動計画

(a) 部会活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、前年度はすべての部会をリモートとしました。今年度については、新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、可能な限り事務局での部会を開催したいと考えています。なお、AFBF/WCA 合同部会は奇数月（2022 年 5 月、7 月、9 月、11 月、2023 年 1 月および 3 月）また SS 部会/労働安全部会は偶数月（2022 年 4 月、6 月、8 月、10 月、12 月および 2023 年 2 月）に開催を予定します。なお、2022 年度の活動課題を以下に示します。

部会名	活動課題
AFBF/WCA 合同部会共通	- 「毒物および劇物取締法」に係る情報の収集と対応 - 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」および「化学物質排出把握管理促進法」に係る情報収集と対応
AFBF 合同部会	- JIS K2233 改正原案の作成 - ISO 規格改正の情報収集と対応 - その他、関連情報の交流
WCA 合同部会	- 原材料の国内外の輸送に係る規制への対応 - その他、関連情報の交流
SS 部会	- 化学物質管理に係る規制内容の周知 - その他、関連情報の交流
労働安全部会	- 「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令」に基づく労働安全管理体制の再構築に係る情報収集と対応 - ラベル表示および SDS 交付に対応する『化学物質検索システム（仮称）』の検討 - 「モデル職場」による『職場における化学物質管理実践マニュアル（仮称）』の検討